

若者たちの美容体験格差を解消する  
株式会社I-ne 社員ボランティアの皆様  
【パートナー団体： 認定 NPO 法人キッズドア】

■活動の目的:

当社の主力ブランドである SALONIA の美容家電(ドライヤー・ヘアアイロン)を通じ、経済的・社会的制約のある方々へセルフケアの機会を提供し、身だしなみに加え、自己肯定感とウェルビーイングの向上を目的とした活動を行っています。物品寄付だけではなく、社員の専門性を活かしたワークショップや業務の紹介など、非営利団体との協働を通じて、年齢や背景に関わらず誰もが自分らしく輝ける社会の実現を目指しています。

■活動を始めたきっかけ(活動開始:2024年11月):

SALONIA のミッション「全ての人々が美容を通して、自分らしくポジティブに生きる社会をめざす」のもと、社員がボランティア活動に励む中で、経済的困難を抱える方々の「美容に興味があっても実践する機会がない」という高校生の美容体験格差の課題に直面しました。この課題を解決するため、社員の培ってきた専門知識を活かして、2024年より認定NPO 法人キッズドアとの協働を開始しました。



■活動内容(ボランティア実数:28名):

本取り組みは、企業の強みと社員の主体性を最大限に活かしています。単なる物品寄付ではなく、美容家電が持つ可能性を見直し、内面の自信や未来への希望を育むという深い価値を提供していくことが特長です。「美容に興味があっても、進学や就職の際にふさわしいヘアスタイルがわからない」という高校生の切実な声がこの取り組みのきっかけでした。美容体験格差ともいえる課題を解決するため、SALONIA とサステナビリティ部門の横断チームを組み、キッズドアと約半年かけて企画・準備を進めました。

最もこだわったのは、高校生の人生の転機を後押しするコンテンツです。ヘアアイロンの提供に加え、面接や受験といった特定のシーンに合わせた身だしなみの整え方を丁寧にレクチャーしました。



参加者が熱心に練習し、綺麗にセットできた時の笑顔は、この取り組みが内面的な変化に繋がった証と捉えています。講師には、困難な家庭環境を乗り越えて夢を叶えた美容師を招聘し、参加者

からの「自信を持つにはどうしたらよいか」という悩みに、自身の経験を交えながら未来への希望を後押しするメッセージを届けました。

企画運営に関わった社員は、この活動の意義を深く理解し、より多くの高校生に機会を提供するための工夫を凝らしました。平日の学校終了後という限られた時間の中で、東京のオフィスとオンラインを組み合わせたハイブリッド形式を採用。これにより、様々な制約をなくし、200名を超える学生が参加できる環境を整えました。こうした細やかなこだわりは、携わった社員一人ひとりの主体性と熱意の表れです。



その経験をもとに活動の幅を広げ、2025年7月と8月に開催した経済的・家庭的な課題のある女性たちを対象とした、『女性たちのためのキャリア支援プロジェクト』(主催:社会福祉法人共生会 SHOWA)の研修に参画。面接におけるヘアセットや、身だしなみを通じて自分自身の魅力を引き出すためのコンテンツを作成し、提供しました。これらの活動から、美容を通して人々の内面にポジティブな変化をもたらしたいという私たちの想いが着実に広がっているものと考えています。

関係団体と活動をスムーズに推進するために、当社は、サステナビリティ部門と事業部門が協力する体制を構築し、キャリアやポジションに関係なく、誰もが活動の起点となれる環境を整えています。また、会社の制度として付与しているボランティア休暇制度を積極的に活用することで、社員の高い活動意欲を後押ししています。

#### ■活動の成果:

2024年11月に実施したキッズドアとの取組みは、高校生224名に対し、物品の寄付とワークショップを実施しました。2025年8月・9月の共生会 SHOWA のプロジェクトでは、31名に物品の寄付と身だしなみの講座、業務の紹介を行いました。また、昨年から東京善意銀行および大阪市社会福祉協議会を通じ、これまでに41団体に、合計350個以上の物品寄付を行いました。今後、ワークショップの連動も視野に入れています。

#### 第11回企業ボランティア・アワード『ユースサポート奨励賞』